

2025年12月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社アシックス 2025年5月15日

各種サービス 新規ご登録はこちらから



OneASICS会員



個人投資家向け
メール配信



ASICSアプリ
(iPhone)



ASICSアプリ
(Android)

INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

連結決算ハイライト

(単位：億円)

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,741	2,083	+342 +19.7%
売上総利益	948	1,163	+215 +22.6%
売上総利益率	54.5%	55.8%	+1.3ppt
販管費	610	718	+108 +17.7%
販管費率	35.1%	34.4%	△0.7ppt
人件費	191	219	+28 +14.8%
広告宣伝費	105	133	+28 +26.4%
広告宣伝費率	6.1%	6.4%	+0.3ppt
賃借料	33	37	+4 +14.1%
減価償却費	48	52	+4 +9.6%
その他経費	233	277	+44 +18.9%
営業利益	338	445	+107 +31.6%
営業利益率	19.4%	21.4%	+2.0ppt
経常利益	330	433	+103 +31.1%
特別損益	△0	0	+0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267	316	+49 +18.4%

	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,401	1,681	+280	+20.0%
海外比率	80.5%	80.7%	-	+0.2ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+340	+19.5%
	連結営業利益増減	+106	+31.5%
	連結純利益増減	+48	+18.2%

平均為替レート（円）	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績
1ドル	147.69	152.90
1ユーロ	160.68	160.70
1人民元	20.62	21.02

2025年12月期 第1四半期 連結決算ポイント①

☑ 全体：全カテゴリーで売上成長、四半期期間で初の2,000億円超え。

粗利益率の大幅改善もあり、営業利益および四半期純利益も過去最高に。

- 売上高：2,083億円（前年同期比：+19.7%、為替影響除く：+19.5%）
- 粗利益率：55.8%（前年同期比：+1.3ppt）
- 営業利益：445億円（前年同期比：+31.6%） / 営業利益率：21.4%（前年同期比：+2.0ppt）
- 四半期純利益：316億円（前年同期比：+18.4%）

☑ カテゴリー業績：P.RUNは2桁増収、SPS、OTも引き続き約50%の大幅増収。

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率 26.7% 前年同期比+0.6ppt
高付加価値商品にフォーカスし増収増益。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅成長。
（売上高：前年同期比+11.5%、為替影響除く：+11.4%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率 31.7% 前年同期比+1.6ppt
全地域で大幅増収。特に、北米、欧州、中華圏での伸長が全体の売上を牽引。（売上高：前年同期比+49.6%、為替影響除く：+49.3%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率 36.4% 前年同期比+0.6ppt
全地域で増収。特に、日本地域、欧州、中華圏で大幅に成長。なお、インバウンド需要の強い日本地域では2倍超の増収。
（売上高：前年同期比+57.2%、為替影響除く：+56.1%）

2025年12月期 第1四半期 連結決算ポイント②

① 地域業績：全地域において増収を達成、特にアシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアで大幅増収。 営業利益率では特にアシックスジャパン、北米で大きく伸長

- アシックスジャパン：営業利益率28.5% 前年同期比 +6.7ppt
オニツカタイガーのインバウンド好調継続により粗利益率の良化、販管費率低減もあり営業利益率が更に伸長（売上高：前年同期比+33.0%）
インバウンド売上高は91億円となり、前年同期の36億円から+55億円（+約150%）の大幅増収。
- 北米：営業利益率14.8% 前年同期比+4.3ppt
ランニング専門店での大幅な伸長に加え、スポーツスタイルの伸長、リテールの収益性改善などにより、営業利益率14.8%と力強く伸長。
（売上高：前年同期比+18.3%、為替影響除く：+16.0%）

② 在庫効率：DIOは、新商品の需給バランスの最適化など、在庫コントロールの徹底により改善

- 連結のDIO（平均棚卸資産回転期間）は148日と前年同期比で18日良化。

③ 財務戦略：自己株式取得・消却、事業の選択と集中

- 本年2月14日に発表した総額200億円の自己株式取得について、4月30日までに約177億円分を取得済。2月28日には2,500万株（消却前の発行済株式総数に対して3.29%に相当）の自己株式を消却
- 更なる事業の選択と集中のため、アシックス商事の子会社であるニッポンスリッパの売却を3月31日に完了

2025年12月期 連結業績予想

- 2025年12月期第1四半期は全カテゴリー、全地域で順調に進捗。
- 米国関税政策の影響およびフレイトコストの増加等で、年間最大50億円の影響を見込む。
- 但し、足元の好調な業績を考慮し、通期見通しおよび配当予想を据置。

(単位：億円)			FY24 実績	FY25 予想	増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売	上	高	6,785	7,800	+15.0%	+17.0%
営	業	利 益	1,001	1,200	+19.9%	+22.4%
営	業	利 益 率	14.8%	15.4%	+0.6ppt	-
経	常	利 益	926	1,150	+24.2%	-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る						
当	期	純 利 益	638	780	+22.2%	-

配当金	中間	期末	通期
2024年12月期	(※) 10.0円	10.0円	20.0円
2025年12月期	12.0円	14.0円	26.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2024年12月期	151.36	163.66	21.06
2025年12月期	150.00	160.00	20.00

※ 2024年7月1日を効力発生日として1：4の株式分割を実施(分割前40円)。

Cプロジェクト 新プロダクト

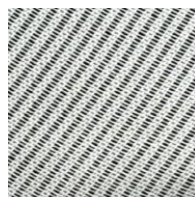
- ・ブランド発信源である日本で開催される東京2025世界陸上競技選手権大会に向け、METASPEED™ TOKYO Seriesを7月25日、また厚底シューズにおいてアシックス史上最軽量のMETASPEED™ RAYを8月12日に発売
- ・試作品を着用したトップアスリートからも、新プロダクトへの高い期待が寄せられている

METASPEED™ RAY



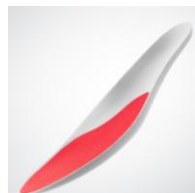
¥33,000(税込)

Weight: **129g**
(27.0cm)



MATRYX®

薄く軽量でありながら
高速走行時も足ブレを抑制
する素材MATRYX®を採用



**FF Leap
SOCK LINING**

ダイレクトなクッション性と
反発性を追求した中敷を採用

METASPEED™ SKY TOKYO



¥29,700(税込)

METASPEED™ EDGE TOKYO



¥29,700(税込)

Weight: **170g**
(27.0cm)

前モデルから約15g軽量化

トップアスリートの評価

●METASPEED™ RAY

◆ Hillary Kipkoech (ヒラリー・キプコエチ) 選手

METASPEED™ RAYを履くと、自信が湧いて速く走れる気がします。今年のレースを待ちきれません。このシューズでどんな成績を出せるか楽しみです

●METASPEED™ TOKYO Series

◆ Vincent Kipkemoi (ヴィンセント・キプケモイ) 選手

歴代シリーズの中でも優れたモデルであるMETASPEED™ SKYで走れて本当に嬉しいです。新しいクッションフォーム材が足を前に運んでくれて、今までにない軽さと弾むような反発性を感じます

◆ Winfridah Moraa (ウィンフリーダ・モーラ) 選手

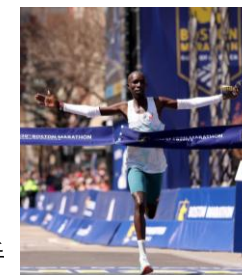
METASPEED™ EDGEは、私のようなピッチ型ランナーにおすすめです。良い成績を残すためには、自分の走り方に合ったシューズを選ぶことができるということがとても大切です

ワールドマラソンメジャーズにおける契約アスリートの活躍

METASPEED™ SKY TOKYOを着用したJohn Korir

(ジョン・コリル) 選手が、昨年10月開催のシカゴマラソン
に続き4月21日に開催されたボストンマラソンでも優勝

John Korir選手



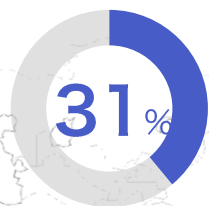
主要マラソン大会の状況

- 本年開催された主要なマラソン大会でのシェアは堅調に推移
- METASPEED™シリーズ着用のアスリートが、次々と好成績を記録

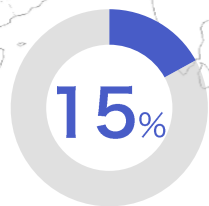
2022年 シェア

2025年 シェア

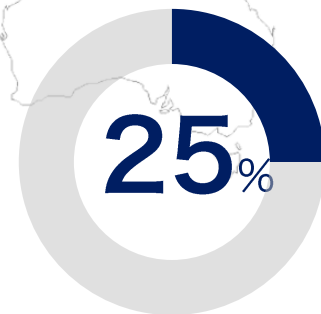
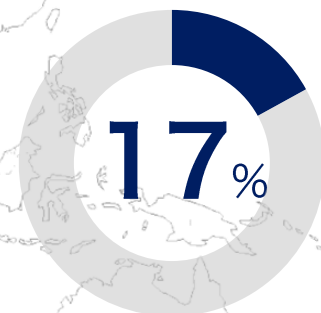
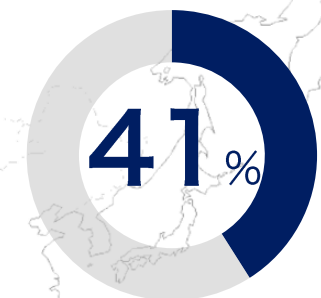
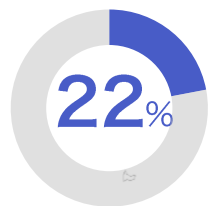
3月2日
東京マラソン
参加者数：37,791名



3月16日
ロサンゼルスマラソン
参加者数：33,500名



4月13日
パリマラソン
参加者数：56,950名



活躍選手

<Men>



© 東京マラソン財団

3位

Vincent Kipkemoi 選手
(ヴィンセント・キプケモイ)



1位

Matt Richtman 選手
(マット・リヒトマン)



5位

Dominic Ngeno 選手
(ドミニク・ンゲイノ)

<Women>



© 東京マラソン財団

2位

Winfridah Moraa 選手
(ウィンフリーダ・モーラ)



1位

Tejinesh Gebisa Tulu 選手
(テジネシュ・ゲビサ・トゥル)



4位

Shauri Magdalena 選手
(シャウリ・マグダレーナ)

一般財団法人 ASICS Foundation 設立

・ 3月28日に開催された第71回定時株主総会において72.3%の賛成率で可決され、4月1日に設立

■ 概要

名称	一般財団法人ASICS Foundation
所在地	神戸市中央区三宮町一丁目2番4号 大和神戸ビル
理事長	甲田知子（株式会社アシックス常務執行役員）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルで、社会的または経済的困難な状況にある青少年、障がい者、女性等へ、運動・スポーツを通じた支援を提供する団体への助成 ・ その他本財団の目的を達成するために必要な事業

■ 主な役員（敬称略） [詳細はこちらからご確認いただけます](#)

評議員	岸田 奈美 増田 明美	作家 スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授
理事	石川 佳純 一ノ瀬 メイ 岐部 智恵子 神 一世子 花形 照美	元プロ卓球選手 競泳パラリンピアン 現 モデル/講演家 桐蔭横浜大学 現代教養学環心理学コース 教授 一般社団法人パラSCエスペランサ代表理事 株式会社リクルートホールディングス、財団・アートセンター推進部 部長
監事	工藤 陽子	ソフトバンク株式会社社外監査役、JOC・東京2025世界陸上財団監事

■ 設立イベント

4月9日に、ASICS Foundationの設立イベントを開催



- ・ 一般財団法人ASICS Foundationは、アシックスの創業哲学である「健全な身体に健全な精神があれかし」、および「VISION2030」の実現をめざして設立
- ・ アシックスは、主に製品・サービスの販売を通じて人々の心身の健康に貢献してきたが、さらに運動・スポーツに関わる社会課題に積極的に取り組むことで、より多くの人々の心と体の健康への貢献を目指す

デジタルに関する取組み

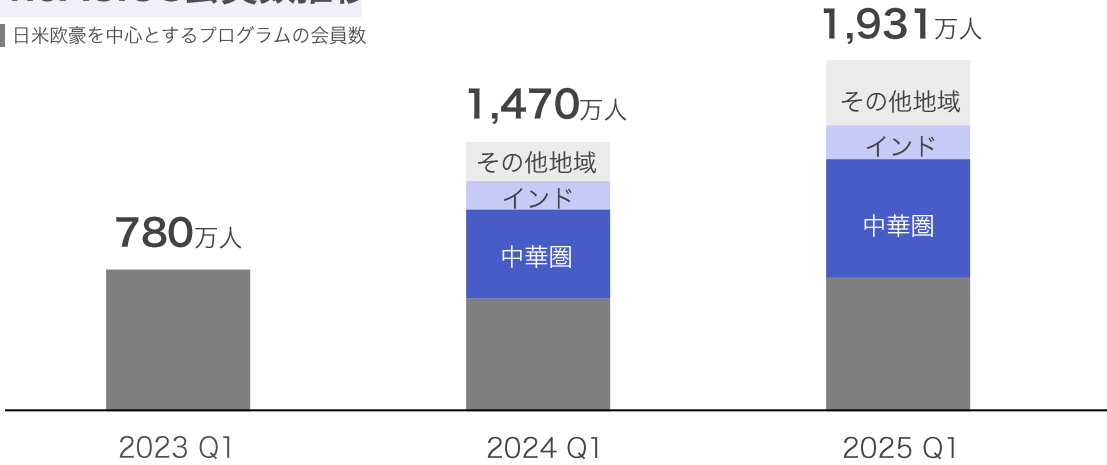
- EC売上高およびOneASICS会員数はともに順調に成長
- 大会を起点にECやSNS等を活用し、ランナーとのタッチポイントを強化し、体験価値を創出

EC売上高の推移

	2023年Q1	2024年Q1	2025年Q1	24Q1 vs 25Q1
EC売上高	222億円	292億円	356億円	+22.2%

OneASICS会員数推移

■ 日米欧豪を中心とするプログラムの会員数

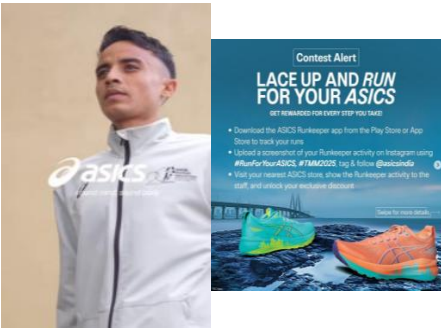


2024年Q1以前は、日米欧豪を中心とするプログラムの会員数を集計
 それ以降は、OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数も含めて集計
 加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施

大会を起点としたランナー体験の充実



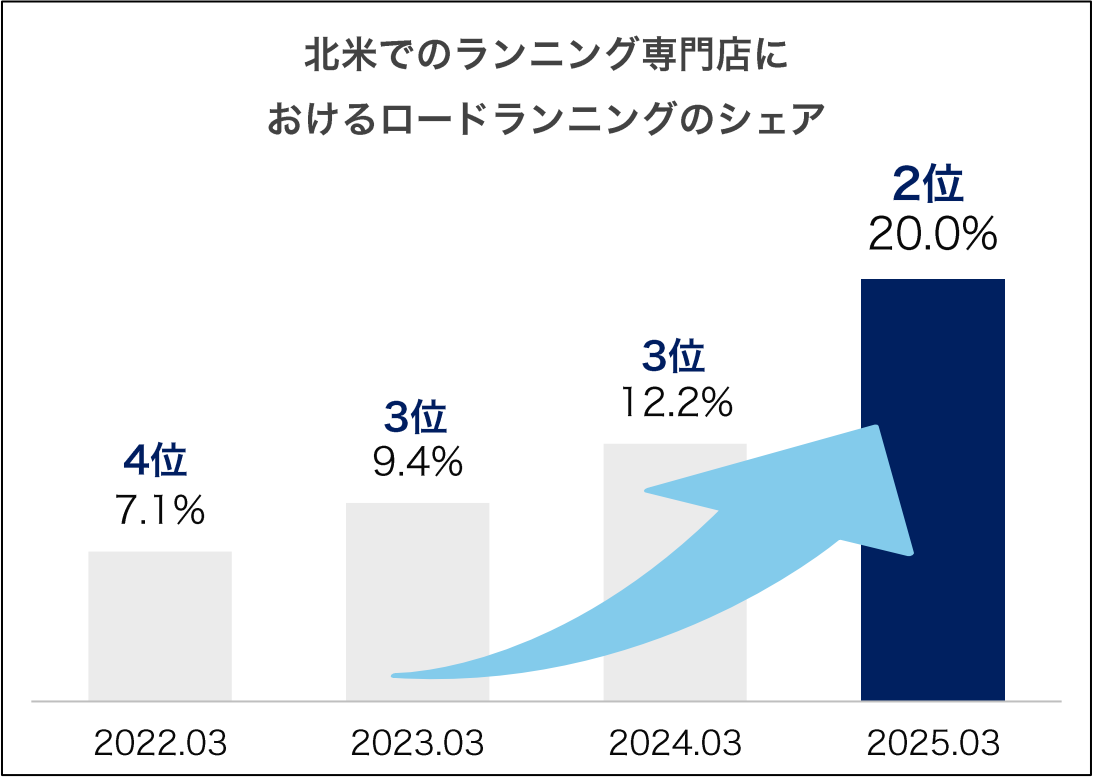
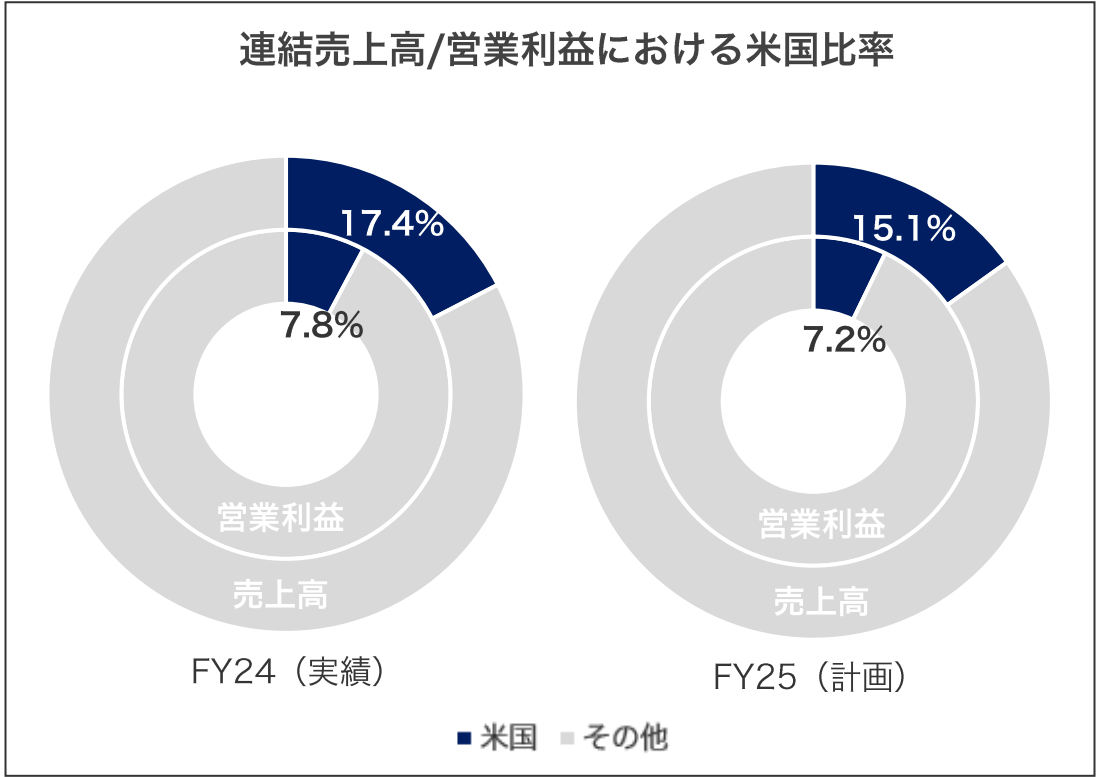
- 3月の東京マラソンにおいて、ECによる先行販売等を通じ、フットウェアだけでなく、高機能アパレルも訴求
- OneASICS会員を対象とした出走権プレゼントキャンペーンでは、顧客データベースを活用し効率的な広告展開を実行し、昨年比で3倍を超える応募を獲得



- インドのムンバイマラソンにおいて、SNSを効果的に活用したデジタルマーケティングを展開し、限定商品や契約アスリートの起用を通じて、ランナーとのエンゲージメントを強化
- 大会参加者が練習した走行距離に応じてリテール店舗で割引特典を得られる取組みを実施し、オンライン・オフラインの両方で体験価値を創出

米国戦略について

- ・ 連結業績全体に占める米国比率は営業利益で7%程度
- ・ 米国関税政策やフレイトコスト上昇等による2025年の業績影響は最大で50億円を見込む
- ・ 第1四半期は米国を含めて好調であり、2025年通期の連結業績予想を据置
- ・ ランニング専門店シェアNo.1に向けては順調に進捗
- ・ グローバルで好調なOTビジネスについて、現時点では米国で展開せず



出典：Circana, LLC, Retail Tracking Service, US, Running Footwear, Road Running Sub Class, Dollar Share

INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
- 2. 連結業績**
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

2025年12月期 第1四半期 概要

売上高 **2,083億円** (前年同期 1,741億円) 前年同期比 : +342億円 +19.7%
為替影響除く : +340億円 +19.5%

☑ 過去最高. 全カテゴリーで成長を継続. 前年同期比+19.7%.

- ・ パフォーマンスランニングは、高付加価値商品にフォーカスし増収増益. アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅成長.
- ・ スポーツスタイルは、全地域で大幅増収. 特に、北米で約2倍、中華圏で約1.5倍と著しく伸長.
- ・ オニツカタイガーは全地域で大幅増収. 特に、インバウンド需要の強い日本では2倍超の増収.

営業利益 **445億円** (前年同期 338億円) 前年同期比 : +107億円 +31.6%
為替影響除く : +106億円 +31.5%

☑ 過去最高. 前年同期比 30%超の大幅増益.

- ・ 粗利益率は55.8%. 高付加価値製品への戦略的なシフトやチャネルミックスの良化などが奏功し、前年同期から+1.3ppt改善.
- ・ 営業利益率は前年同期の19.4%から21.4%へ (+2.0ppt) .

四半期純利益 **316億円** (前年同期 267億円) 前年同期比 : +49億円 +18.4%
為替影響除く : +48億円 +18.2%

☑ 過去最高. 前年同期比 約20%の増益.

- ・ 上記増収増益により前年同期比で約20%の増益.

連結決算ハイライト

(単位：億円)

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,741	2,083	+342 +19.7%
売上総利益	948	1,163	+215 +22.6%
売上総利益率	54.5%	55.8%	+1.3ppt
販管費	610	718	+108 +17.7%
販管費率	35.1%	34.4%	△0.7ppt
人件費	191	219	+28 +14.8%
広告宣伝費	105	133	+28 +26.4%
広告宣伝費率	6.1%	6.4%	+0.3ppt
賃借料	33	37	+4 +14.1%
減価償却費	48	52	+4 +9.6%
その他経費	233	277	+44 +18.9%
営業利益	338	445	+107 +31.6%
営業利益率	19.4%	21.4%	+2.0ppt
経常利益	330	433	+103 +31.1%
特別損益	△0	0	+0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267	316	+49 +18.4%

	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,401	1,681	+280	+20.0%
海外比率	80.5%	80.7%	-	+0.2ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+340	+19.5%
	連結営業利益増減	+106	+31.5%
	連結純利益増減	+48	+18.2%

平均為替レート（円）	FY24Q1 実績	FY25Q1 実績
1ドル	147.69	152.90
1ユーロ	160.68	160.70
1人民元	20.62	21.02

- (単位：億円)



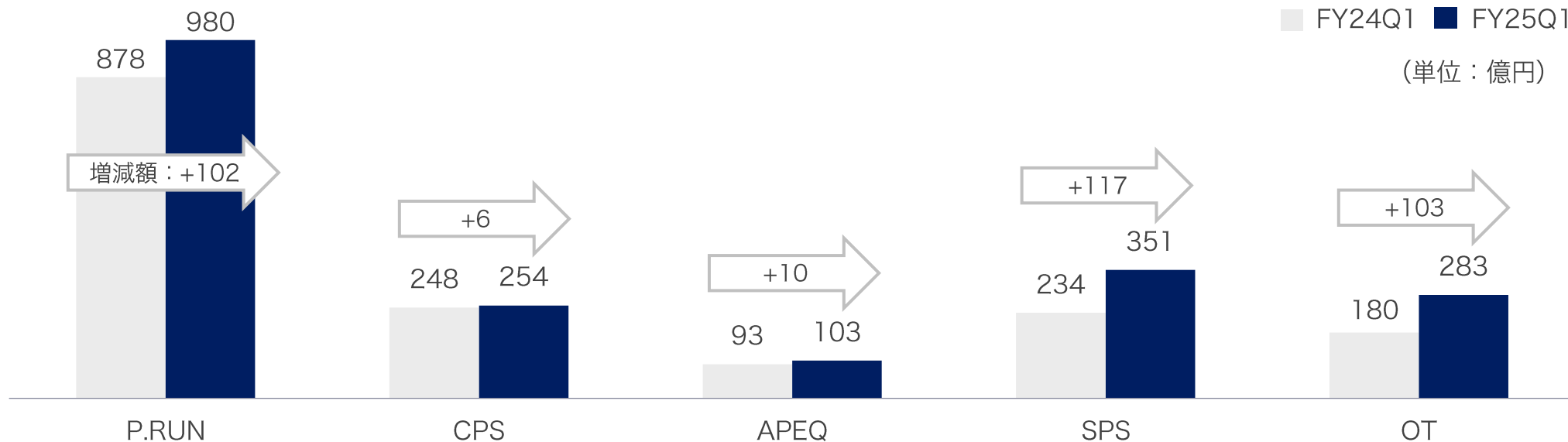
INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
- 3. 連結経営成績（カテゴリー別）**
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは高付加価値商品にフォーカスし増収。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅増収。
- SPSは全地域で大幅増収。特に、北米、欧州、中華圏での伸長が全体の売上を牽引。
- OTは全地域で大幅増収。特に、インバウンド需要の強い日本では2倍超の増収。



増減率	+11.5%	+2.5%	+10.9%	+49.6%	+57.2%
為替影響を除く	+11.4%	+2.8%	+11.1%	+49.3%	+56.1%

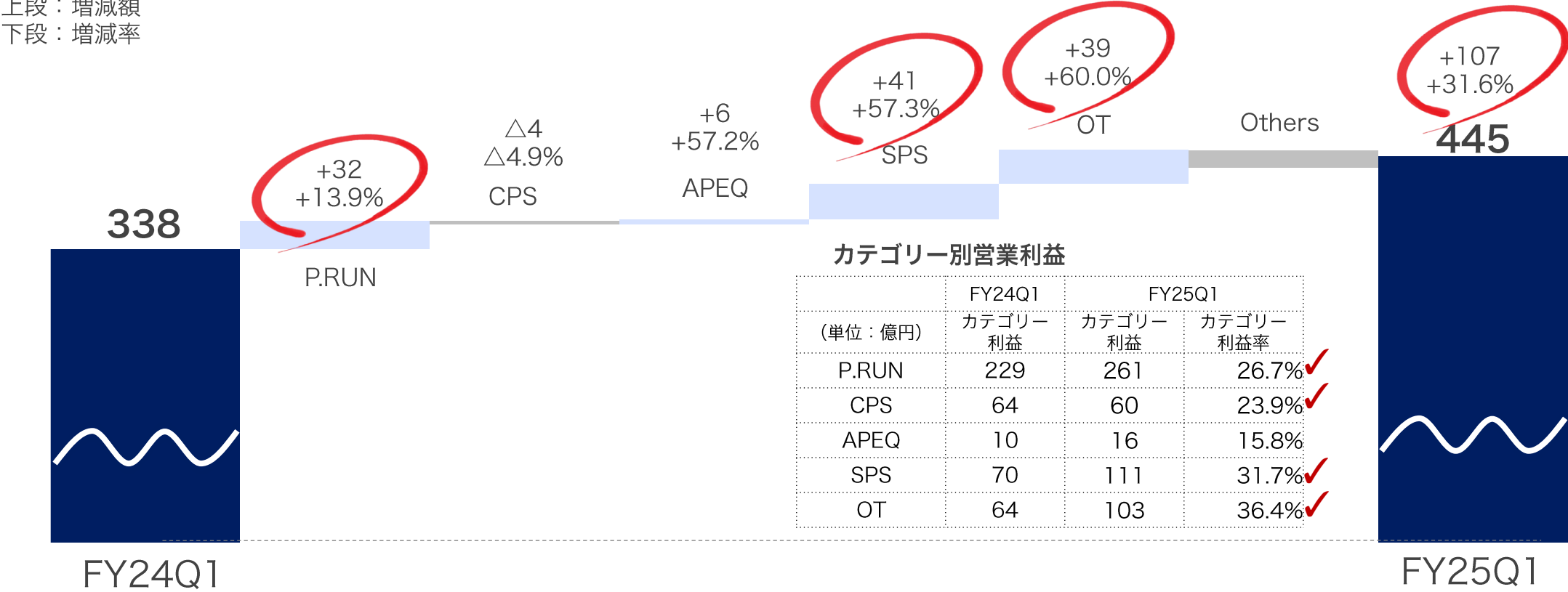
連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- ・ P.RUN、SPS、OTの大幅増収に加え、主に高付加価値商品にフォーカスすることでカテゴリー利益は大きく伸長. 特に、SPS、OTでは50%超の大幅増益.
- ・ 上記に加え、主にDTC比率の向上も寄与し、カテゴリー利益率も、ほぼ全てのカテゴリーで良化.

(単位：億円)

上段：増減額

下段：増減率



カテゴリ利益等一覧

- カテゴリ利益は、P.RUN、SPS、OTの大幅増収に加え、主に高付加価値商品にフォーカスすることで増益。
- 売上高は前年同期比+19.5%にも関わらず、カテゴリ外コストは、コストオーナー制の下、前年同期比+8.6%と売上増加率の範囲内。

(単位：億円)

	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	980 (+102)	254 (+6)	103 (+10)	351 (+117)	283 (+103)	112 (+4)	2,083 (+342)
カテゴリ利益	261 (+32)	60 (△4)	16 (+6)	111 (+41)	103 (+39)		
カテゴリ外コスト							110 (+9)
連結営業利益							445 (+107)

() 内は前年同期比

パフォーマンスランニング (P.RUN)



GEL-NIMBUS 27

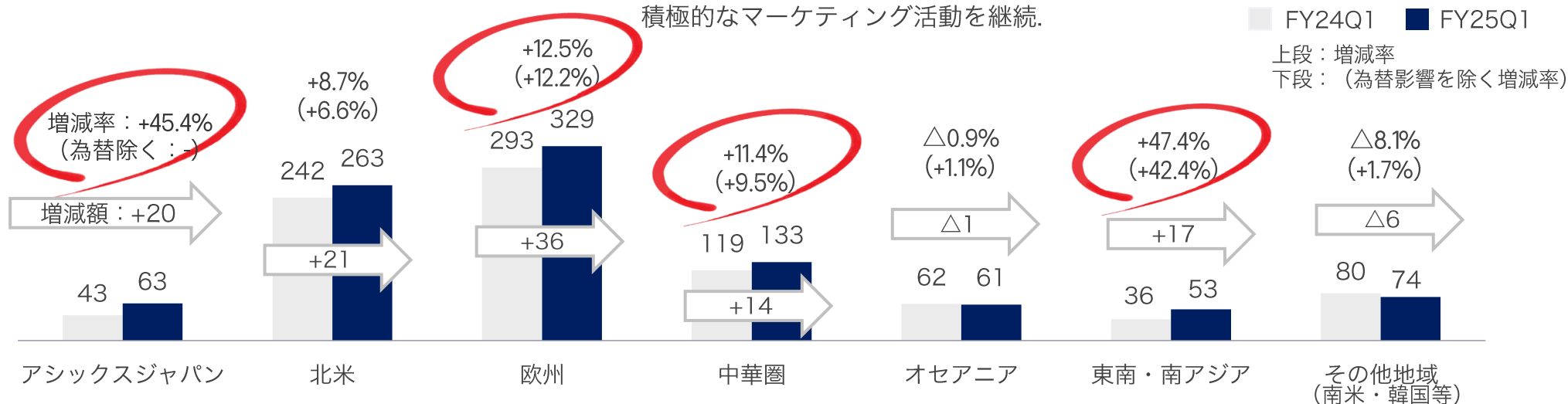
植物由来材を使用したFF BLAST PLUS ECOを採用し、優れたクッション性を実現。まるで雲の上に着地しているかのような感覚のランニングシューズ。

※AppendixにP.RUNのフルラインナップを掲載

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1	FY25Q1	(単位：億円)	
			前年同期比 増減額	増減率
売上高	878	980	+102	+11.5%
為替影響除く		979	+101	+11.4%
カテゴリー利益	229	261	+32	+13.9%
カテゴリー利益率	26.1%	26.7%	-	+0.6ppt

ポイント

- 売上高は、世界中で好調なNOVABLAST 5が売上を牽引し増収。
- 粗利益率は52.9%（前年同期比+0.5ppt）と改善。高付加価値商品へのフォーカスにより、粗利益率向上。
- 北米でのランニング専門店向け売上は前年同期比+25.1%の増収（為替除く）。また、3月の北米でのランニング専門店におけるロードランニングのシェア※は、前年同月12.2%（3位）から20.0%（2位）まで上昇。
- 革新的な新商品である、METASPEED™ TOKYO Series・METASPEED™ RAYをそれぞれ7月・8月に発売予定。
- 5月に「Tokyo：Speed：Race」を開催。9月の東京2025世界陸上に向けて、積極的なマーケティング活動を継続。



※出典：Circana, LLC, Retail Tracking Service, US, Running Footwear, Road Running Sub Class, Dollar Share, March 2025

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

コアパフォーマンススポーツ（CPS）

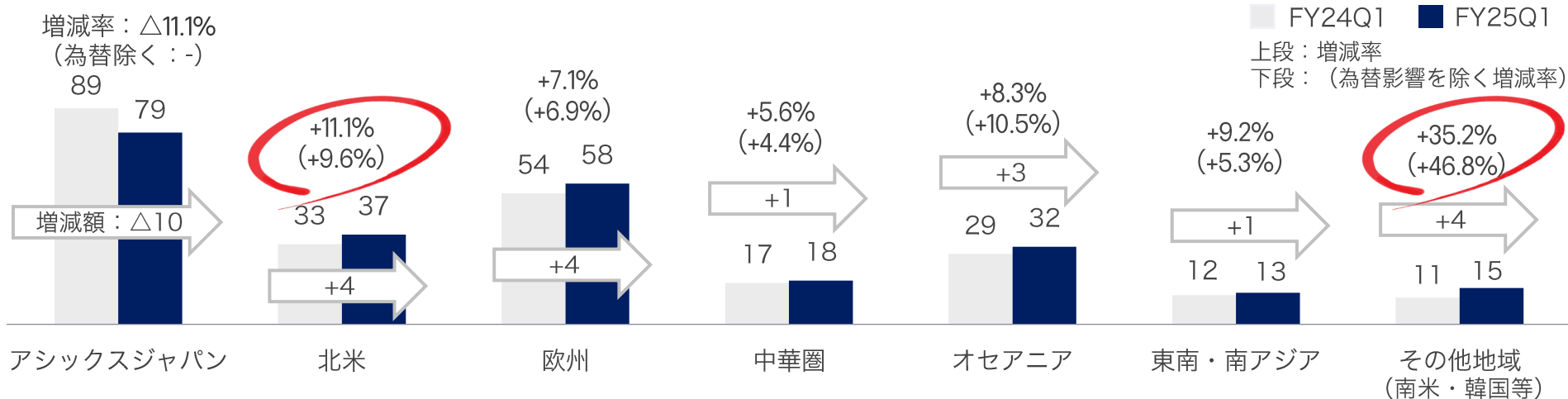


SOLUTION SPEED FF 3（オールコート）
オールコートのテニスプレイヤー向けに設計された、
スピードを追求した軽量シューズ。

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1	FY25Q1	(単位：億円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高 ※248	254	254	+6	+2.5%
為替影響除く		255	+7	+2.8%
カテゴリー利益 64	60	60	△4	△4.9%
カテゴリー利益率 25.7%	23.9%	23.9%	-	△1.8ppt

ポイント

- 売上高は、スクール事業の縮小（※）などがあったものの、テニスやワーキングなどが牽引し増収。
- 粗利益率は、販売価格の適正化、高付加価値商品への注力などにより、47.0%（前年同期比+0.7ppt）と改善。
- カテゴリー利益は、前年同期比では減益したものの、計画を上回り推移。
- コラボレーション商品やインドアスポーツ限定カラーパックの販売に加えて、河村勇輝選手など契約選手を起点とした製品訴求を強化していく。



※ アシックスジャパンスクール事業のFY24Q1売上高は8億円、FY25Q1売上高は僅少。

アパレル・エキップメント (APEQ)



METASPEED Apparel (AW25)

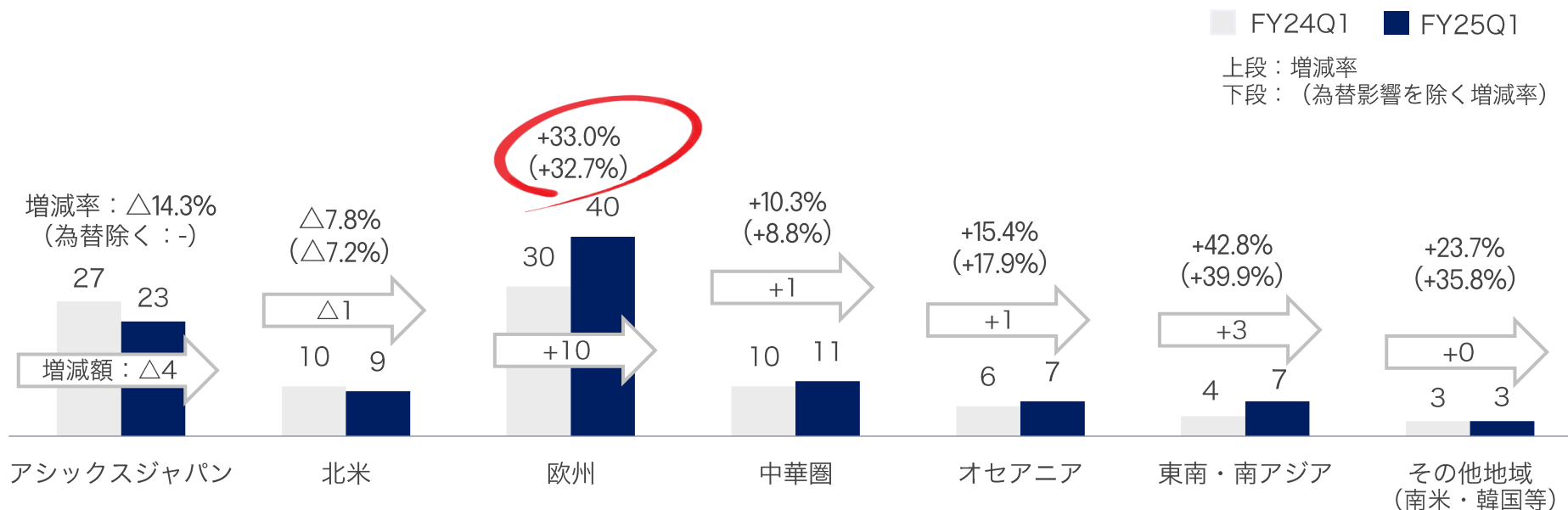
フルマラソン35km地点までのエナジーセービングと、フィニッシュまでの加速を後押しする、トップランナーのためのアパレル。

※AppendixにP.RUNのフルラインナップを掲載

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1	FY25Q1	(単位：億円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	93	103	+10	+10.9%
為替影響除く		103	+10	+11.1%
カテゴリ利益	10	16	+6	+57.2%
カテゴリ利益率	11.1%	15.8%	-	+4.7ppt

ポイント


- 売上高は、ランニングアパレルが好調な欧州が牽引し、カテゴリ全体で増収。
- 粗利益率は、一部地域で戦略的な絞り込みを行ったことにより、54.5%（前年同期比+4.0ppt）と大幅に改善。
- カテゴリ利益は、好調な欧州が牽引し、大幅増益。
- 「Tokyo : Speed : Race」や、マラソン大会の出場契約アスリートのユニフォームとして最高機能モデルのMETASPEED Apparelを採用。




スポーツスタイル (SPS)



GEL- DS TRAINER 14



2000年代後半のデザイン要素を取り入れ、快適性と汎用性を兼ね備えて、特徴的なアッパーと優れたクッショニング性能を持った復刻モデル。

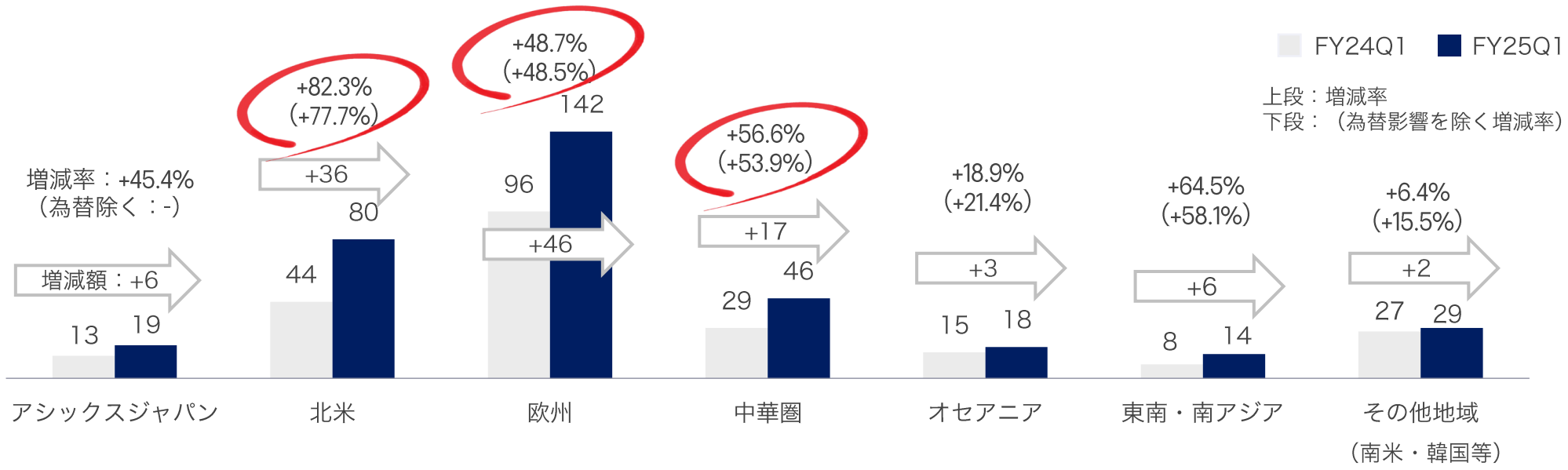


第1四半期 (1-3月)	FY24Q1	FY25Q1	(単位：億円)	
			前年同期比 増減額	増減率
売上高	234	351	+117	+49.6%
為替影響除く		350	+116	+49.3%
カテゴリー利益	70	111	+41	+57.3%
カテゴリー利益率	30.1%	31.7%	-	+1.6ppt

ポイント

- 売上高は、VINTAGE TECHが引き続き好調を維持、MODERNサイロのGEL-NYCやVIS-TECHのKINETIC FLUENTの売上構成比が増加し、全地域で大幅成長。
- 粗利益率は50.7%、前年同期比△0.3pptとマイナスも、WSチャネルが大きく成長。
- 強いVINTAGE TECHのモメンタムを活かし、2月からグローバル発売したGEL-DS TRAINER 14を全面的に押し出したマーケティング活動を通じて、女性客へのリーチ拡大を図る。
- 昨年に引き続き6月のパリファッションウィーク期間中にブランドイベントを実施し、プレミアムライフスタイルブランドとしてプレゼンスの更なる向上を目指す。

※AppendixにSPSのフルラインナップを掲載



オニツカタイガー (OT)

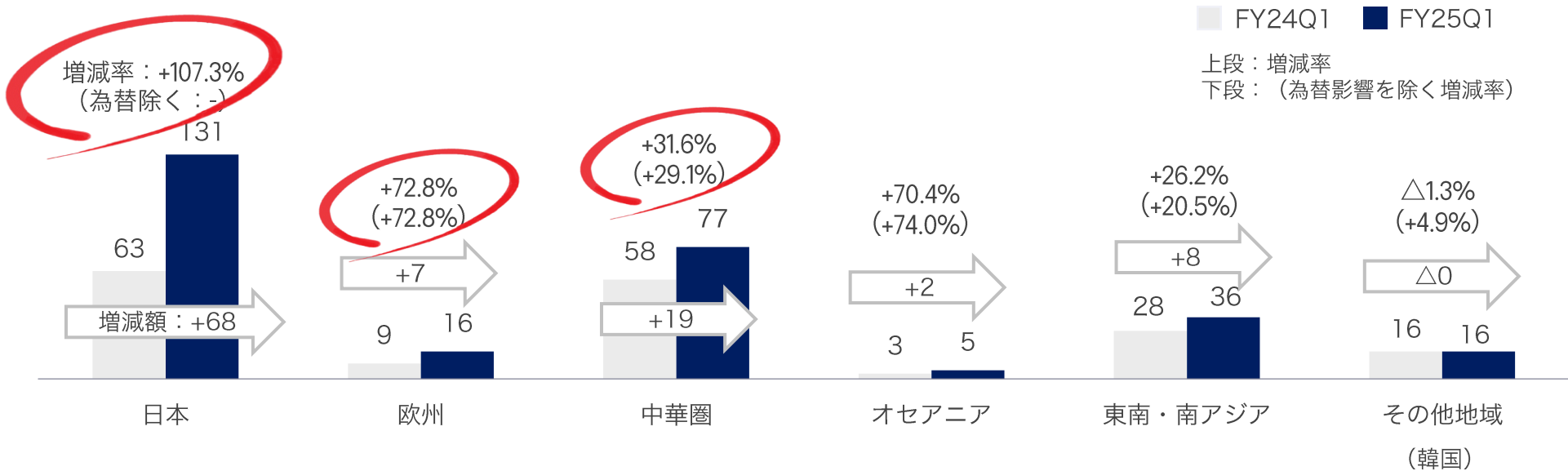


MEXICO 66 TGRS
細身で美しいシルエットと、フラワーカットの
オニツカタイガーストラップが特徴のパレエスニーカー。

第1四半期 (1-3月)	FY24Q1	FY25Q1	(単位：億円)	
			前年同期比 増減額	増減率
売上高	180	283	+103	+57.2%
為替影響除く		281	+101	+56.1%
カテゴリー利益	64	103	+39	+60.0%
カテゴリー利益率	35.8%	36.4%	-	+0.6ppt

ポイント

- 売上高は、インバウンド売上が好調な日本地域に加え、欧州、中華圏などでも大幅成長。
- ミラノファッションウィークへの参加や、スペイン・バルセロナでの旗艦店など、プレミアムロケーションへの出店により、グローバルでブランド価値向上に寄与。
- 第1四半期のインバウンド売上（FY24Q1: 29億円→FY25Q1: 78億円）は、第1四半期期間としての過去最高を更新。国内売上も50%以上の成長。
- 粗利益率は、74.0%（前年同期比△0.1ppt）と同水準を維持。
- 4月に表参道でイエローコンセプトストアをオープンし、7月にはパリ、シャンゼリゼ通りに旗艦店をオープン予定。



INDEX

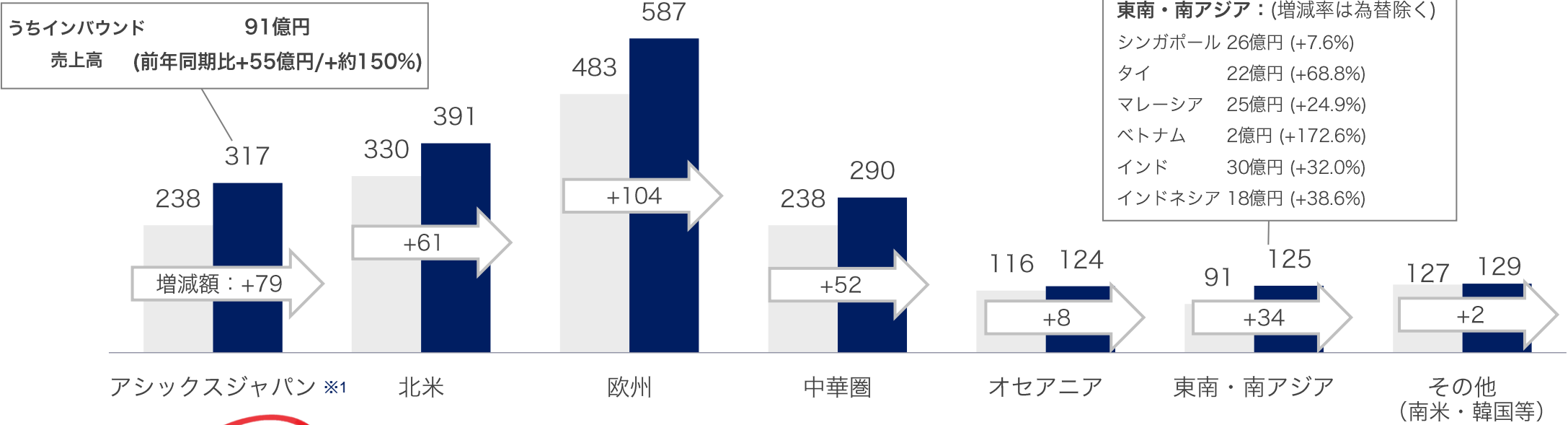
1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
- 4. 連結経営成績（地域別）**
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

地域別売上高

- アシックスジャパンは、スポーツスタイルの伸長（+45.4%）、インバウンドが好調なOTの伸長により+33.0%の成長。
- 欧州は、P.RUNの堅調な成長を軸に、スポーツスタイルの増収（+48.5%）が牽引し、+21.3%と成長を維持。
- 中華圏は、ローカル需要を捉える商品が引き続き好調に推移し、+19.5%と大幅な増収を継続。
- 東南・南アジアは、P.RUNの増収（+42.4%）が牽引し、+31.7%と大幅成長。

（単位：億円）



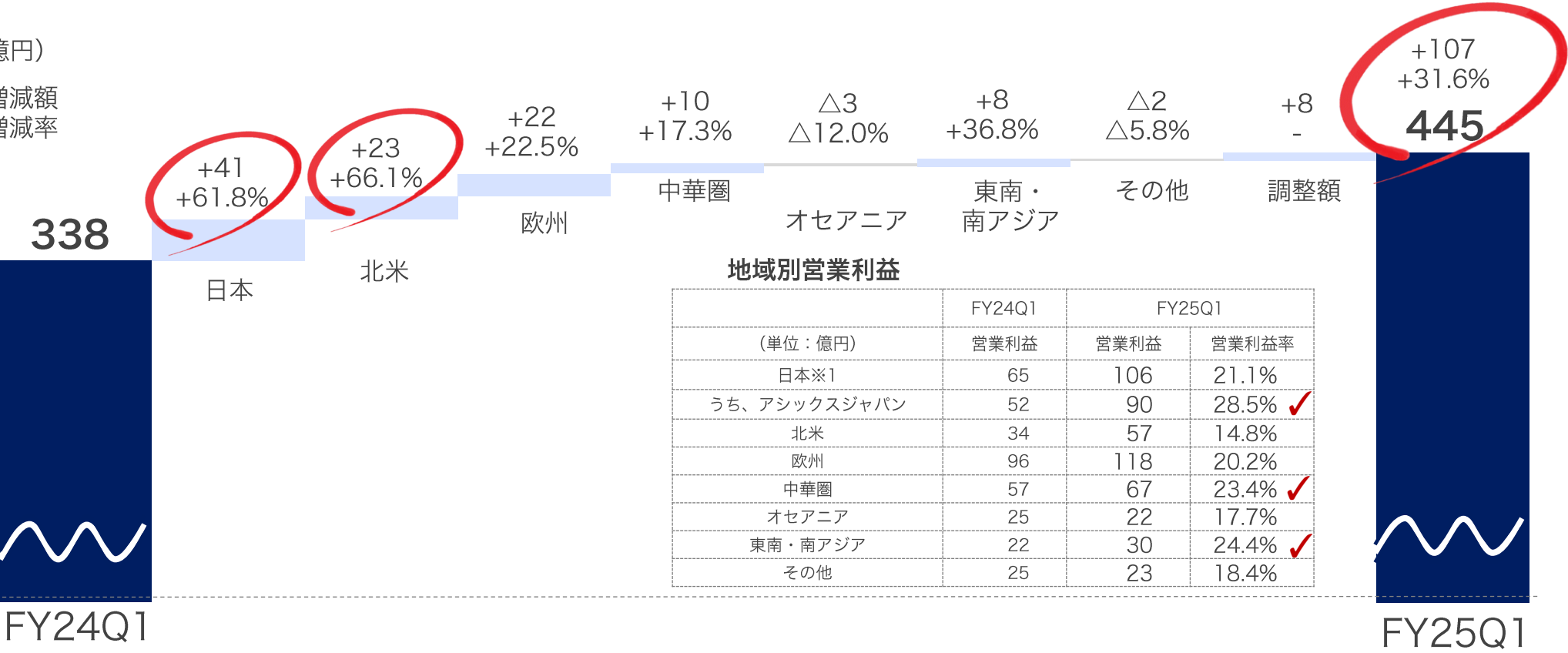
※1 決算短信における日本地域の売上は、前期400億円、当期505億円です。当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要5カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております。

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、OT好調に伴うDTC比率の向上により粗利益率が改善、さらに販管費率の低下もあり営業利益率28.5%と大幅に改善。
- 中華圏は、DTC比率の向上による粗利益率の改善もあり、引き続き高い営業利益率（23.4%）で推移。
- 東南・南アジアは、売上成長を背景に営業利益も大きく伸長。営業利益率は24.4%と引き続き高い水準を維持。

(単位：億円)

上段：増減額
下段：増減率



地域別営業利益

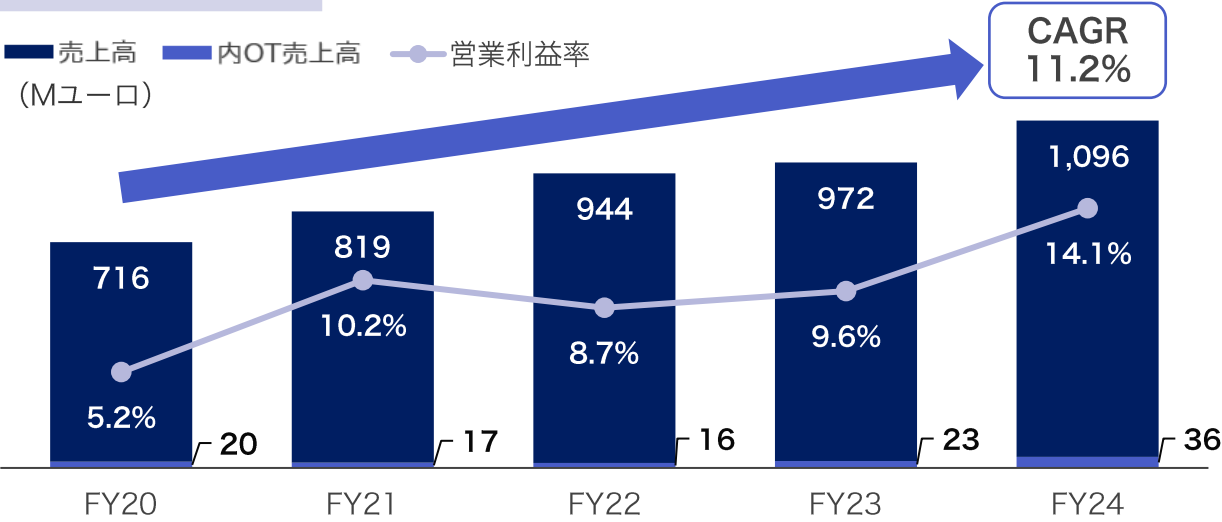
	FY24Q1	FY25Q1	
(単位：億円)	営業利益	営業利益	営業利益率
日本※1	65	106	21.1%
うち、アシックスジャパン	52	90	28.5% ✓
北米	34	57	14.8%
欧州	96	118	20.2%
中華圏	57	67	23.4% ✓
オセアニア	25	22	17.7%
東南・南アジア	22	30	24.4% ✓
その他	25	23	18.4%

※1 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

欧州における取組み

- ・ 主要国において既にシェアが高い欧州マーケットにおいても堅調かつ持続的な成長を実現
- ・ 更なる成長に向けてアシックスは大会スポンサーを活用した取組みを、OTは旗艦店の出店を通じて、それぞれブランディング戦略を強化

業績推移・シェア



主要5か国のP.RUN マーケットシェア

主要5か国	FY24 Q1		FY25 Q1	
フランス	37.3%	1位	35.5%	1位 ✓
ドイツ	19.4%	1位	24.8%	1位 ✓
イギリス	24.3%	3位	26.8%	2位
イタリア	15.1%	2位	19.0%	2位
スペイン	14.8%	2位	20.9%	2位

更なる成長に向けたブランディング戦略

1 大会スポンサーを活用したブランド認知拡大

- ・ 相対的にマーケットシェアが低い国においても大会のスポンサーとなり、積極的なプロモーション活動を展開。ブランド認知度の向上と市場シェアの拡大を図る



ASICS LDNX
2025年～



ミラノマラソン
2022年～



セビージャマラソン
2022年～

2 OT 主要都市の一等地への出店によるブランド確立

- ・ バルセロナのグラシア通り、パリのシャンゼリゼ通りといったプレミアムロケーションに直営店をオープン。欧州を中心にブランディングを強化



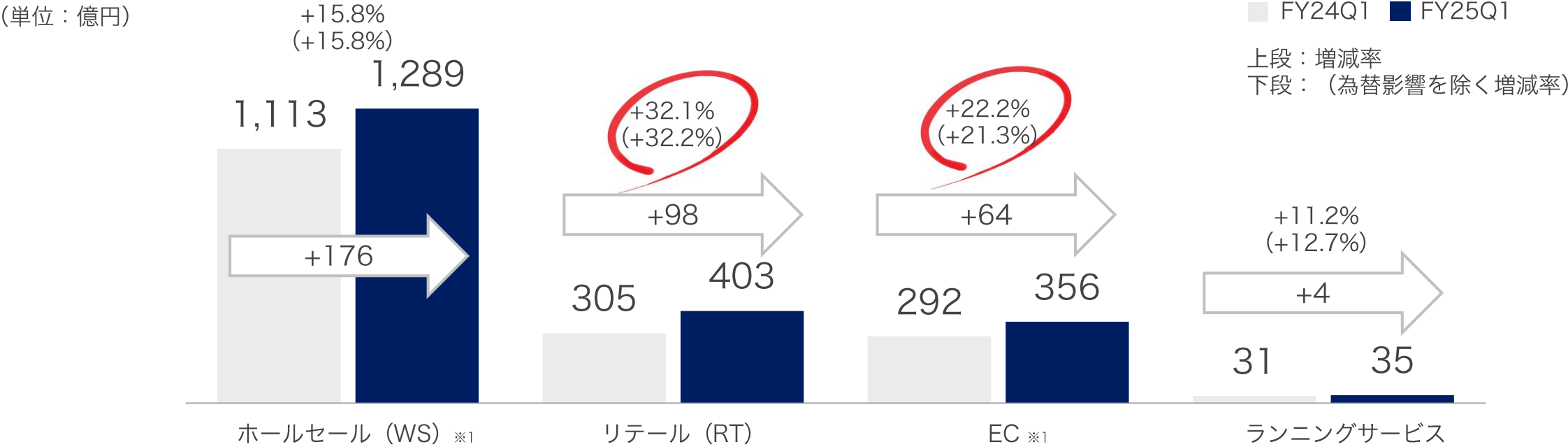
オニツカタイガーバルセロナ
2025年3月オープン



オニツカタイガーシャンゼリゼ
2025年7月オープン（予定）

チャネル別売上高

- ホールセールは、北米、欧州、中華圏、東南・南アジアで2桁増により前年同期比+15.8%。
- リテールは、日本、中華圏などでの増収により前年同期比+32.2%（アシックスジャパン +87.8%、中華圏 +21.0%）。
一部地域では戦略的に店舗数削減を行うなど、収益性にもフォーカスした結果、全ての地域で営業利益が黒字化し、営業利益率も大きく改善（14.8%→20.8%）。
- ECは、OneASICS会員数拡大とともに前年同期比+21.3%と伸長。自社EC以外の販売戦略の見直しも実施し、営業利益率も大きく改善（12.7%→20.6%）。



チャネル別 売上高構成	63.8%	▶	61.8%	17.6%	▶	19.4%	16.8%	▶	17.1%	1.8%	▶	1.7%

※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。

連結売上高（月別・四半期別）

FY25

売上速報

FY24

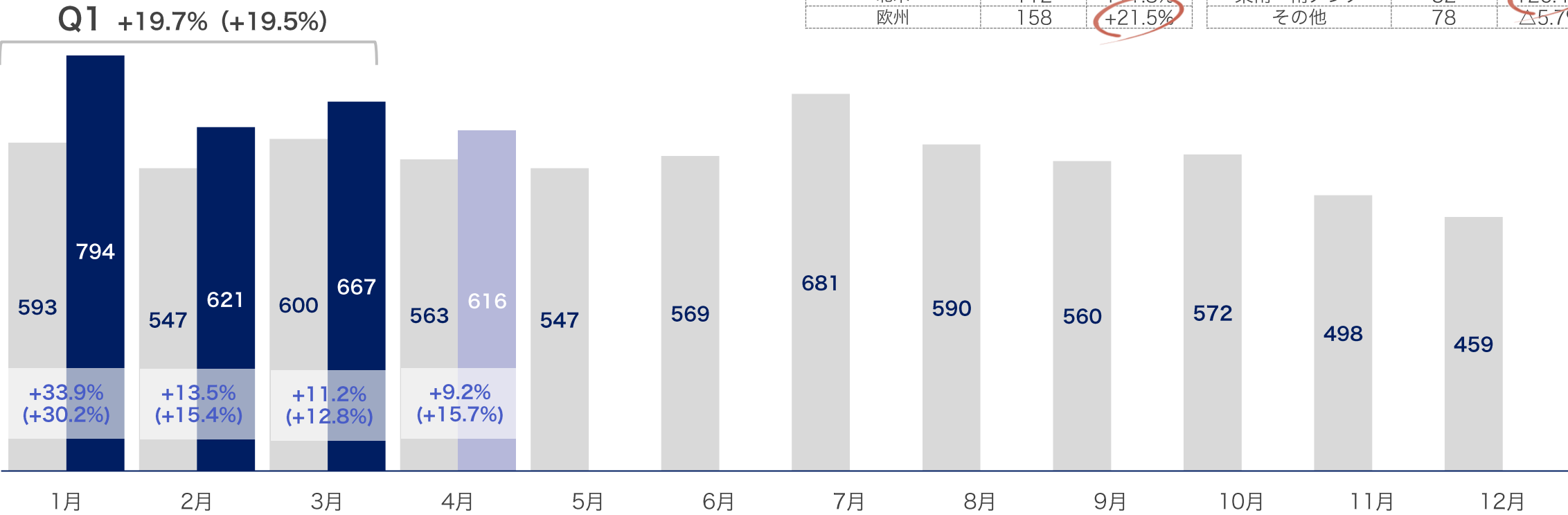
前年同月比%（為替影響を除く増減率）

- 25年4月単月売上は616億円※、前年同月比+9.2%（為替影響除くと+15.7%）、計画比+4.8%（為替影響除くと+7.0%）。
- SPSは+23.6%（為替影響除くと+32.0%）、OTは+41.2%（為替影響除くと+45.9%）と引き続き大幅増収。
- 地域別では、アシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアなどで2桁増収。アシックスジャパンのインバウンド売上は単月過去最高の40億円（内、OT35億円）と、前年同月の20億円（内、OT16億円）を大きく上回る。OTインバウンド4月累計売上は114億円となり、年間計画に対して43%の進捗。

（単位：億円）

4月度主要地域売上

	売上高	為替影響を除く増減率		売上高	為替影響を除く増減率
連結	616	+15.7%	中華圏	100	+26.0%
アシックスジャパン	108	+26.1%	オセアニア	25	+0.1%
北米	112	+11.8%	東南・南アジア	32	+26.4%
欧州	158	+21.5%	その他	78	△5.7%



※ 2025年4月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。

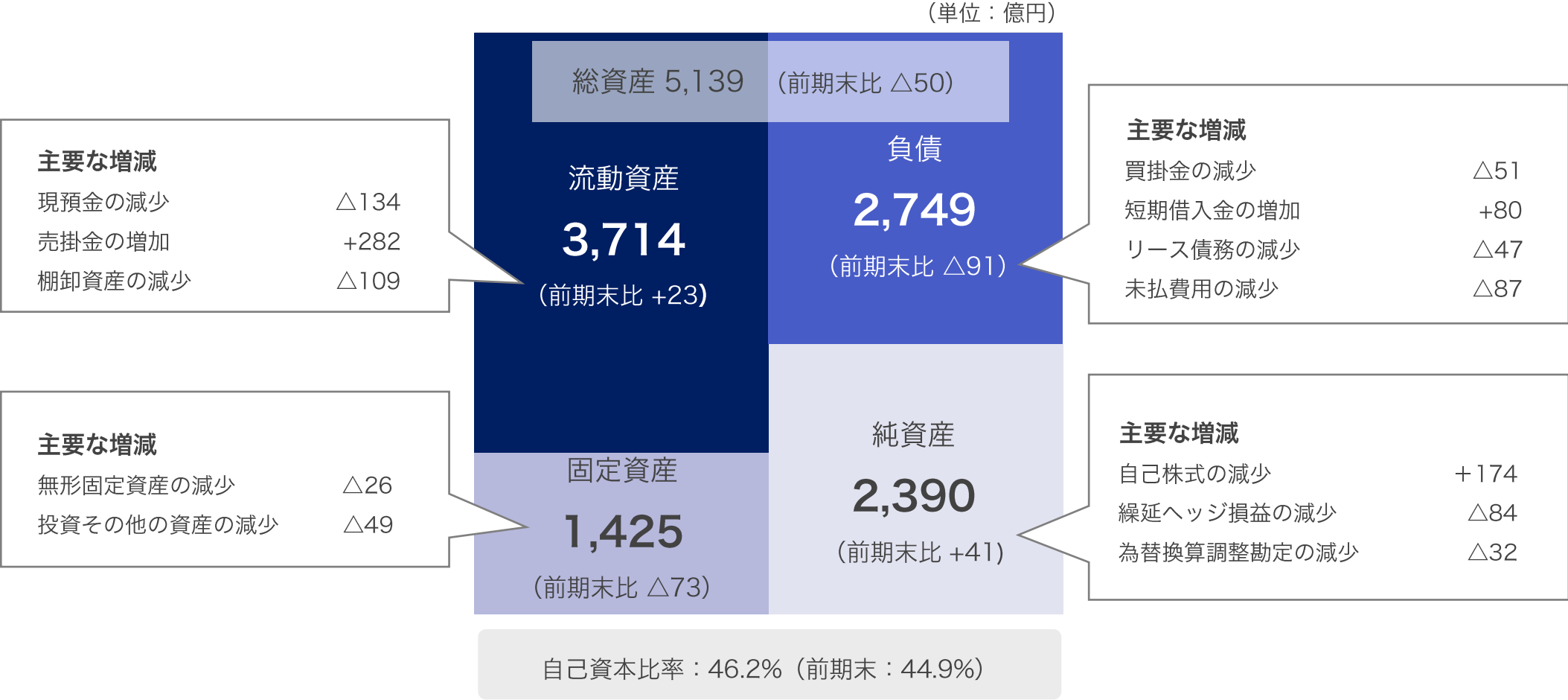
INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
- 5. 連結財政状態**
6. IR関連トピックス

Appendix

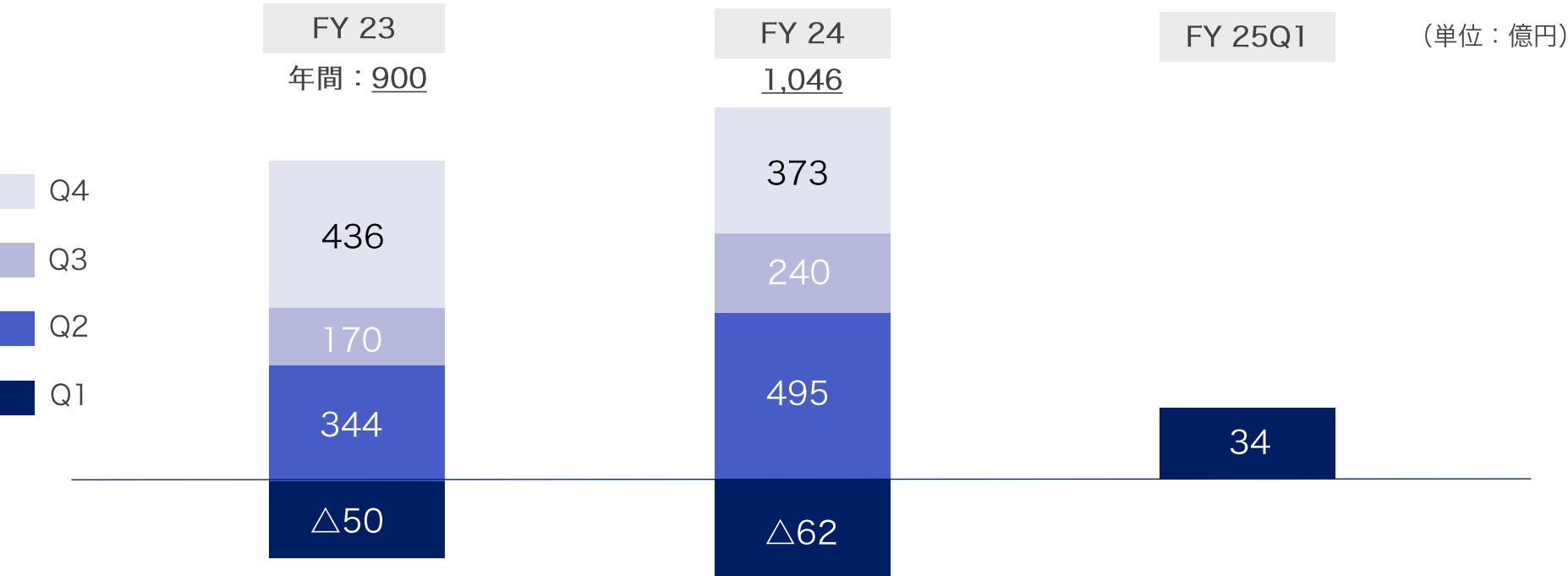
連結貸借対照表

- ・ 現預金は利益の積上げがあったものの、自己株式の取得（3月末迄で85億円）や期末配当の実施（71億円）に加え、好調な業績を反映した売掛金の増加により減少。
- ・ 棚卸資産は在庫効率化の継続的取組もあり前期末に比べ109億円減少（為替影響を除くと実質80億円減少）。
- ・ 自己資本比率は純利益の積上げや負債の減少により前期末と比較し1.3ppt上昇。



連結営業キャッシュフロー

- 第1四半期の連結キャッシュフローを今期より新たに開示。
- 第1四半期の営業キャッシュフローは大幅な増益に加え継続的な在庫管理強化(DIOは前年同期の166日から148日へ18日良化)によりプラスに転換。



連結CCC

	FY24Q1	FY24Q4	FY25Q1	前年同期比	前期末比
DSO (売掛債権回転期間)	54	49	47	7日良化	2日良化
DIO (棚卸資産回転期間)	166	151	148	18日良化	3日良化
DPO (買掛債務回転期間)	56	64	65	9日良化	1日良化
CCC	164	136	130	34日良化	6日良化

カテゴリー別／主要地域別DIO及び棚卸資産

- カテゴリー別では、全カテゴリーにおいて前年同期比及び前期末比でDIOが改善。
- 主要地域別では、OTを中心にインバウンド売上が好調なアシックスジャパンのDIOが微増、中国も順調な売上成長もありDIOが微増も第2四半期以降良化の見込

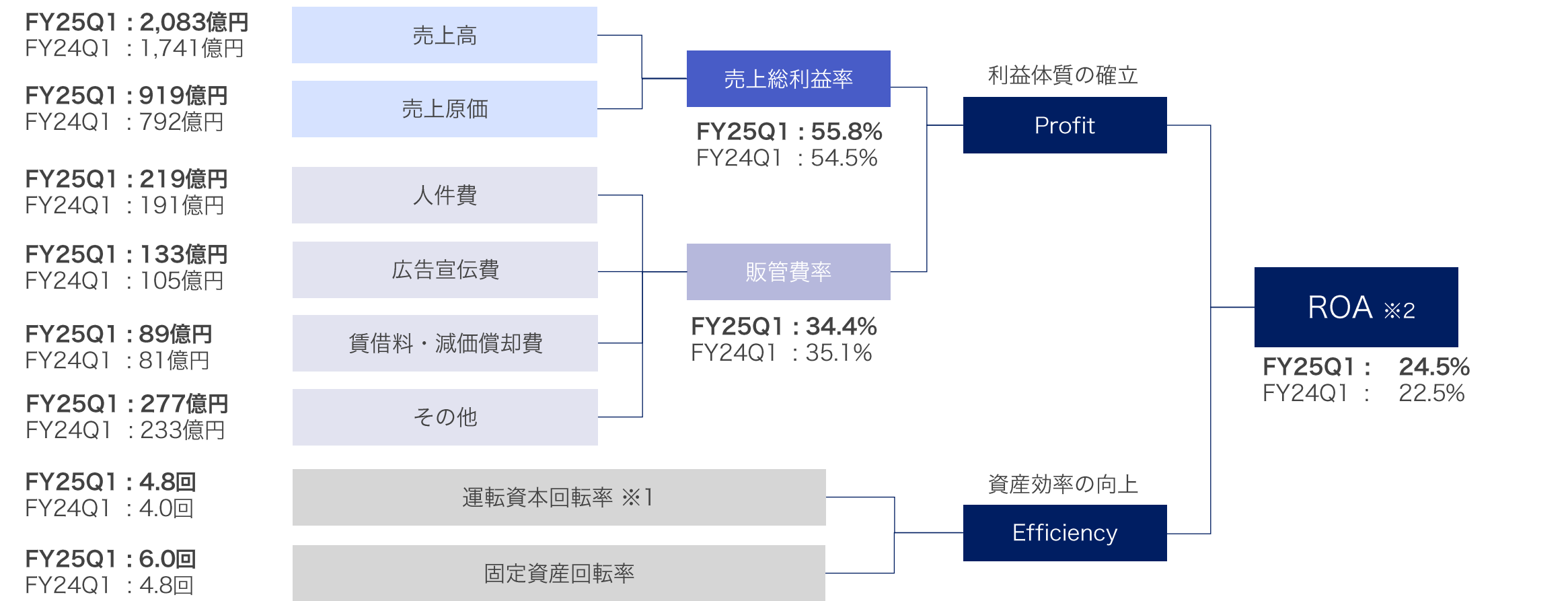
■カテゴリー別（単位：億円）※		FY24Q1	FY24Q4	FY25Q1	前年同期比	前期末比
P.RUN	DIO	118日	105日	99日	△19日	△6日
	棚卸資産	475	496	412	△63	△84
CPS	DIO	100日	95日	92日	△8日	△3日
	棚卸資産	116	134	106	△10	△28
APEQ	DIO	201日	161日	157日	△44日	△4日
	棚卸資産	94	78	85	△9	+7
SPS	DIO	107日	87日	83日	△24日	△4日
	棚卸資産	106	146	134	+28	△12
OT	DIO	226日	211日	209日	△17日	△2日
	棚卸資産	166	194	216	+50	+22

※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません。

■主要地域別（単位：現地通貨）		FY24Q1	FY24Q4	FY25Q1	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン （億円）	DIO	126日	122日	128日	+2日	+6日
	棚卸資産	109	166	157	+48	△9
米国 （M USD）	DIO	151日	124日	117日	△34日	△7日
	棚卸資産	161	143	140	△21	△3
欧州 （M EUR）	DIO	179日	155日	149日	△30日	△6日
	棚卸資産	195	234	201	+6	△33
中国 （M RMB）	DIO	167日	170日	174日	+7日	+4日
	棚卸資産	761	926	983	+222	+57

ROAツリー分解

- ・ プロダクトミックス、リージョンミックス、チャネルミックスの良化による売上総利益率の向上に加えコスト管理の徹底により販管費率が低下.
- ・ 資産効率の観点では、主にDIOの改善により運転資本回転率が良化し、政策保有株式の売却等により固定資産回転率も向上.



※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA = $\frac{\text{2025年12月期第1四半期純利益}}{(\text{2024年12月期期末総資産} + \text{2025年12月期第1四半期末総資産}) \div 2} \times 4$

INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
- 6. IR関連トピックス**

Appendix

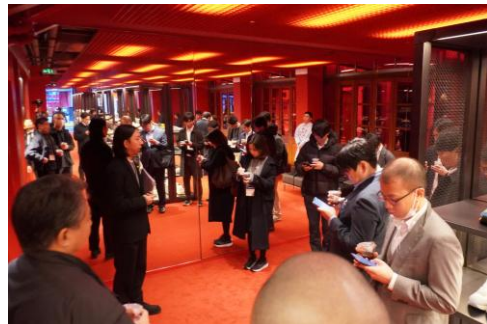


1 中国にてアナリスト・機関投資家向け視察ツアーを開催

- ・ 必ずしも堅調とは言い難い市場環境下においても、アシックスが力強い成長を続ける中国事業の状況を証券会社アナリスト・機関投資家の皆様に視察いただくことを目的として、3月3日～5日にかけて中国ツアーを開催
- ・ 店舗や工場の見学、中国のランニングカルチャーの盛り上がりを体感いただくランニングイベントなどを実施



店舗視察（アシックス）



店舗視察（オニツカタイガー）



工場見学



参加者とのランニングイベント

2 個人投資家向けIR説明会@那覇

- ・ 3月15日に那覇にて、第1回目となる個人投資家向けIR説明会を開催
約180名の個人投資家様が参加
- ・ 今後7都市（札幌、仙台、東京、名古屋、神戸、広島、福岡）で開催予定
- ・ 受付中のイベント情報や参加お申込みは[こちらをクリック](#)



CEOによるプレゼンテーション



シューズ試し履き



デジタル体験



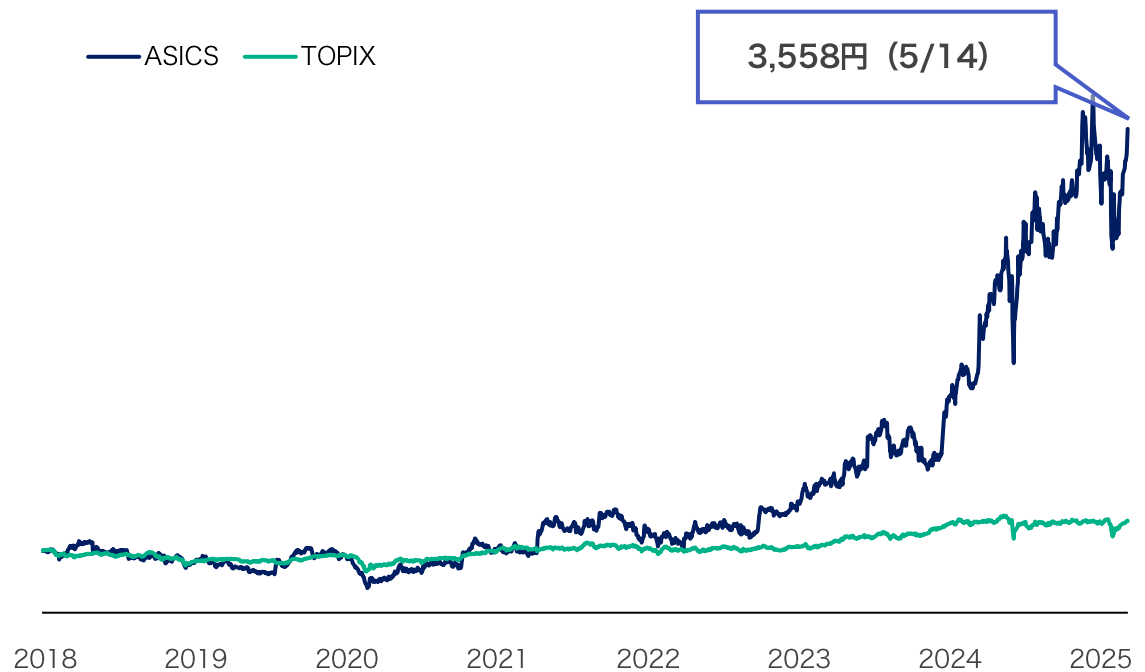
足形計測

IRカレンダー（予定）

主なイベント			
2025年	5月24日（土）	第1部 10：00～ 第2部 13：30～	個人投資家向け IR説明会 @福岡
	6月29日（日）	第1部 10：00～ 第2部 14：00～	個人投資家向け IR説明会 @札幌
	7月7日（月）	13:00 – 14:30	インベストメントデイ（テーマ：中華圏・オニツカタイガー戦略）
	8月13日（水）	13:00開示	2025年12月期 第2四半期決算 決算発表
	8月13日（水）	14:00 – 15:00	2025年12月期 第2四半期決算 決算説明会 報道機関向け
	8月14日（木）	14:00 – 15:00	2025年12月期 第2四半期決算 決算説明会 機関投資家、アナリスト向け
	8月24日（日）	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @仙台
	9月27日（土）	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @神戸
	11月12日（水）	13:00開示	2025年12月期 第3四半期決算 決算発表
	11月12日（水）	14:00 – 15:00	2025年12月期 第3四半期決算 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け
	11月20日（木）	時間未定	インベストメントデイ（テーマ：未定）
	11月頃	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @名古屋
	12月頃	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @広島
2026年	2月	13:00開示	2025年12月期 決算発表
	2月	14:00 – 15:00	2025年12月期 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け
	2月頃	時間未定	個人投資家向け IR説明会 @東京

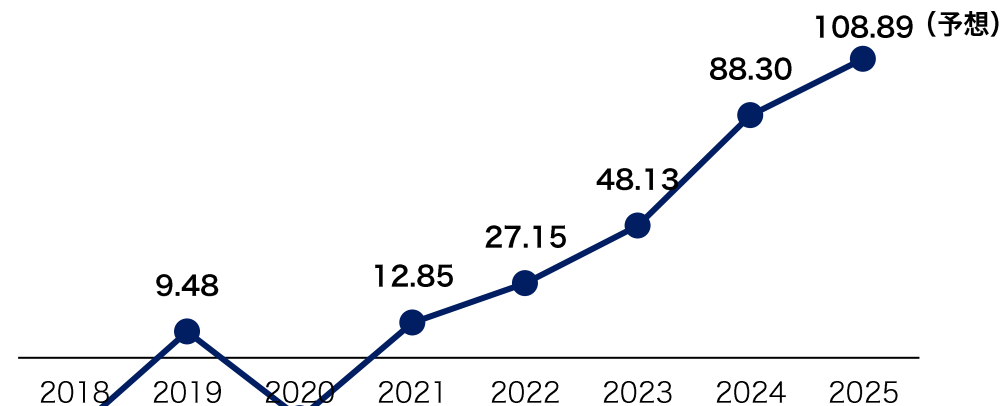
株価及び指標の推移

■ 株価推移 2017年末 – 2025年5月14日

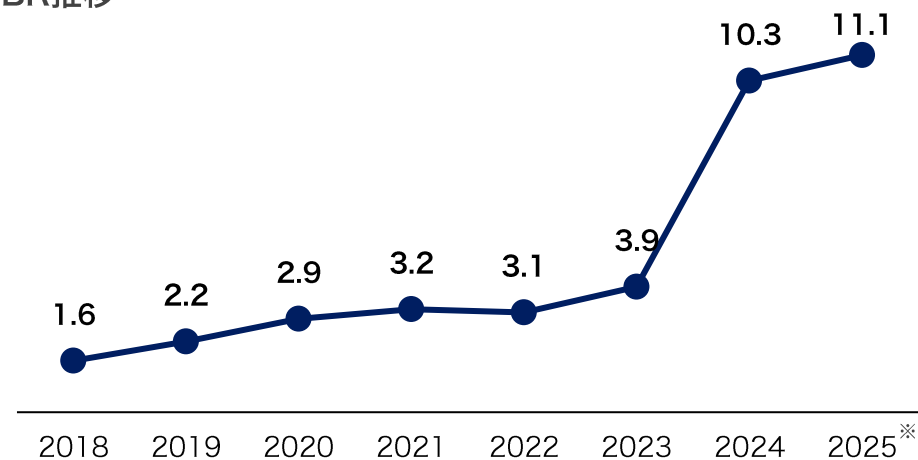


出所：ブルームバーグ

■ EPS推移



■ PBR推移



※ 5月14日時点

出所：ブルームバーグ

INDEX

1. 決算ポイント及びトピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. IR関連トピックス

Appendix

その他の取組み

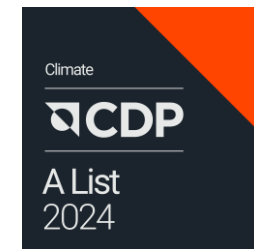
外部評価

- 環境戦略等の情報開示・評価をするNGOであるCDPより「気候変動Aリスト」（最高評価）企業に初認定
- 知財・無形資産ガバナンス推進協会※¹が選定する「第1回 知財・無形資産ガバナンス表彰※²」において優秀賞を受賞. 知財・無形資産の取組みが組織的かつ戦略的に行われており、企業価値を持続的に向上させる好事例として評価された

※¹ 知財・無形資産ガバナンス推進協会 (IPIAGPA) : <https://ipiagpa.net/>

※² 第1回となる2024年度審査では、東京証券取引所プライム市場、スタンダード市場、グロース市場の上場企業3,823社（2024年9月末時点）を対象に審査された

- 経済産業省が東京証券取引所と共同選定する「SX（サステナビリティトランスフォーメーション）銘柄2025」に初選定



環境

- スポーツスタイルカテゴリーから、豊田合成株式会社と協業し、自動車のハンドルの製造工程で廃棄される予定のレザーを再利用したシューズ「SKYHAND OG（スカイハンドオージー）」を2月に発売



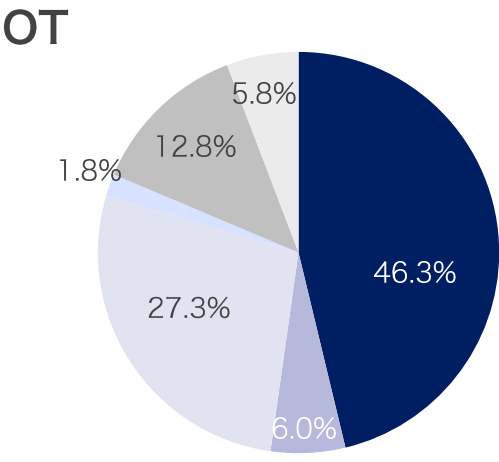
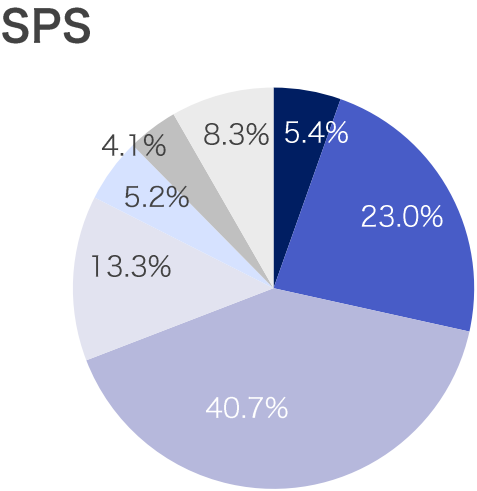
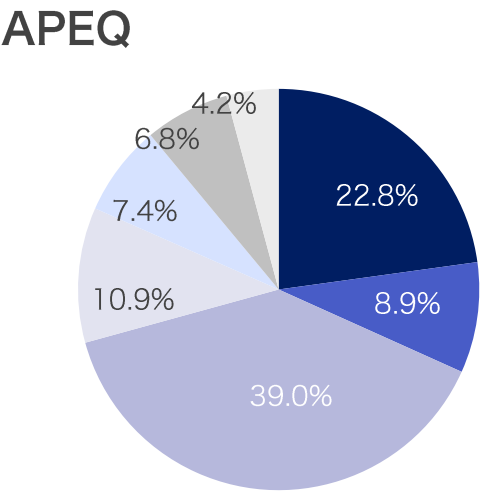
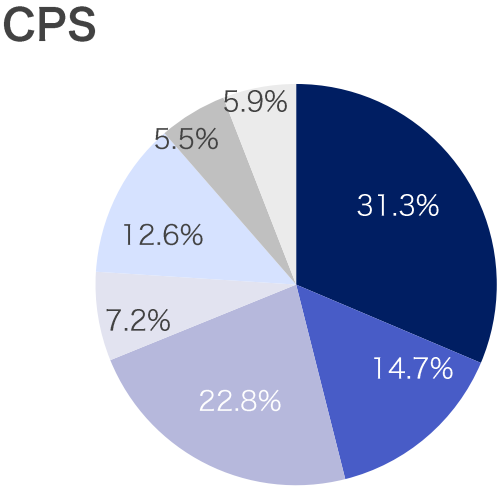
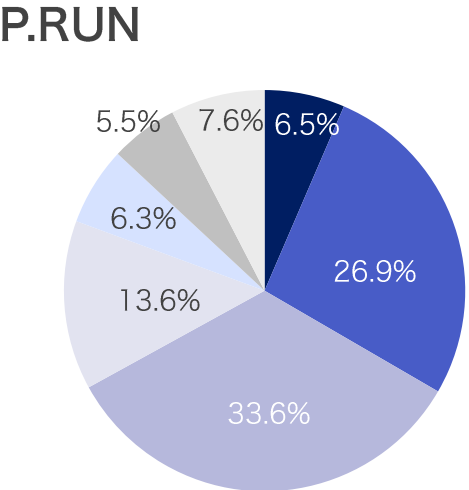
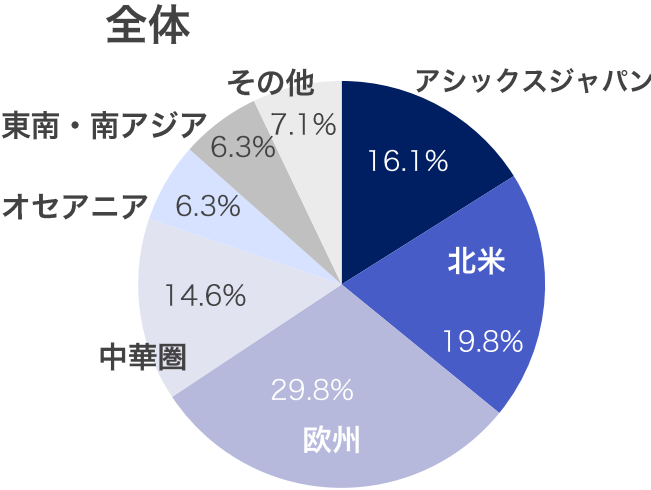
社会

- 第25回デフリンピック競技大会 東京2025 のトータルサポートメンバー契約を締結
- 一ノ瀬メイさんがアシックスブランドアンバサダーに就任. サステナビリティと共生社会の実現に向け、共に情報発信や啓発活動を行っていく



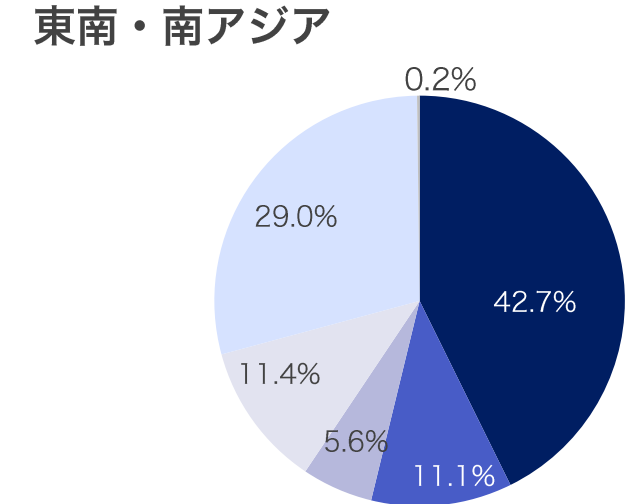
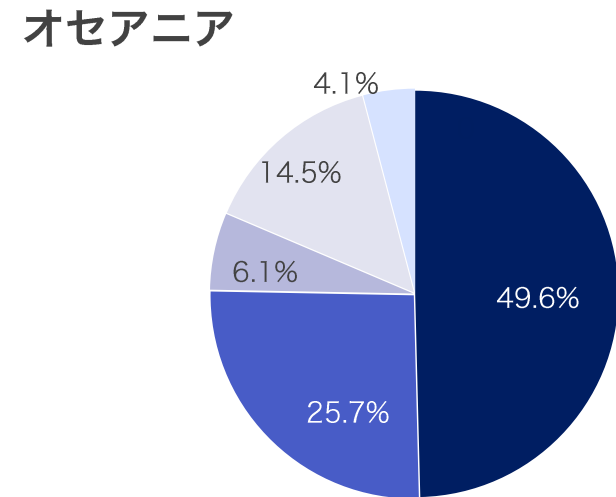
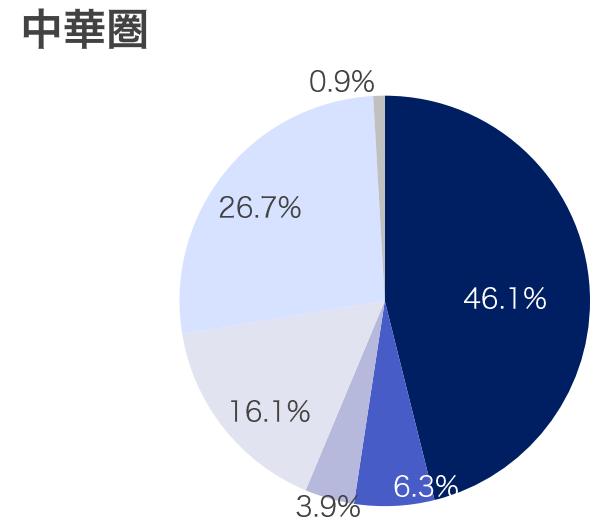
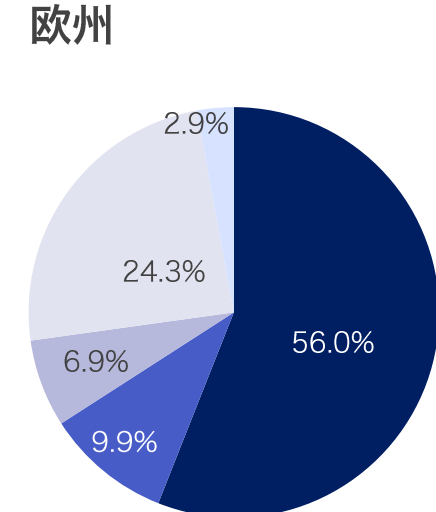
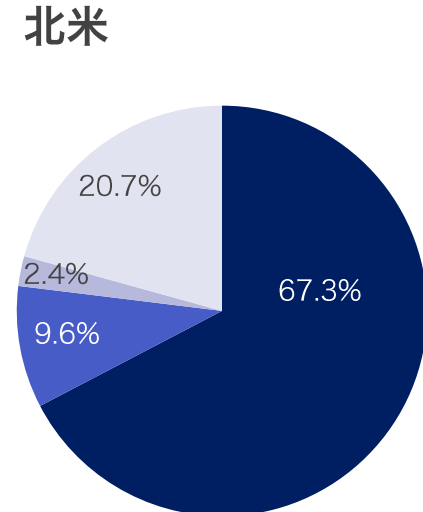
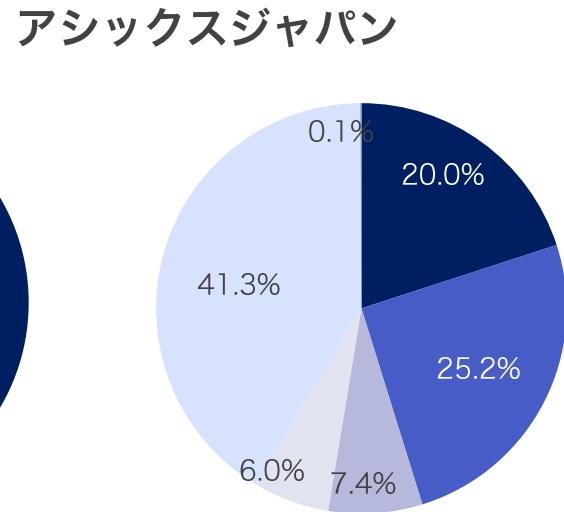
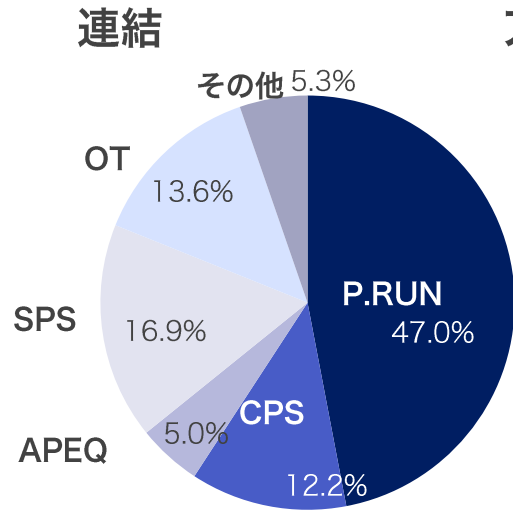
■ カテゴリー別地域別売上高構成（2025年12月期第1四半期）

■ アシックスジャパン ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ オセアニア ■ 東南・南アジア ■ その他



主要地域別カテゴリー別売上高構成（2025年12月期第1四半期）

■P.Run ■CPS ■APEQ ■SPS ■OT ■その他



2025年12月期 第1 四半期 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	400	505	+105	+26.1%
為替影響除く				
営業利益	65	106	+41	+61.8%
営業利益率	16.5%	21.1%	-	+4.6ppt

アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	238	317	+79	+33.0%
為替影響除く				
営業利益	52	90	+38	+73.4%
営業利益率	21.8%	28.5%	-	+6.8ppt

北米	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	330	391	+61	+18.3%
為替影響除く		382	+52	+16.0%
営業利益	34	57	+23	+66.1%
営業利益率	10.5%	14.8%	-	+4.3ppt

欧州	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	483	587	+104	+21.5%
為替影響除く		586	+103	+21.3%
営業利益	96	118	+22	+22.5%
営業利益率	20.0%	20.2%	-	+0.2ppt

中華圏	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	238	290	+52	+21.5%
為替影響除く		284	+46	+19.4%
営業利益	57	67	+10	+17.3%
営業利益率	24.2%	23.4%	-	△0.8ppt

オセアニア	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	116	124	+8	+6.7%
為替影響除く		126	+10	+8.9%
営業利益	25	22	△3	△12.0%
営業利益率	21.5%	17.7%	-	△3.8ppt

東南・南アジア	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	91	125	+34	+36.7%
為替影響除く		120	+29	+31.7%
営業利益	22	30	+8	+36.8%
営業利益率	24.4%	24.4%	-	+0.0ppt

その他地域	FY24Q1	FY25Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	127	129	+2	+1.5%
為替影響除く		142	+15	+11.8%
営業利益	25	23	△2	△5.8%
営業利益率	19.8%	18.4%	-	△1.4ppt

2025年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,269	3,580	+9.5%	+11.6%
	カテゴリー利益	707	800	+13.1%	+15.1%
	カテゴリー利益率	21.6%	22.3%	+0.7ppt	-
CPS	売上高	786	840	+6.8%	+8.2%
	カテゴリー利益	141	150	+6.4%	+7.7%
	カテゴリー利益率	17.9%	17.9%	-	-
APEQ	売上高	380	380	-	+1.7%
	カテゴリー利益	43	43	-	+1.3%
	カテゴリー利益率	11.4%	11.4%	-	-
SPS	売上高	984	1,320	+34.1%	+36.9%
	カテゴリー利益	268	370	+37.7%	+40.3%
	カテゴリー利益率	27.3%	28.0%	+0.7ppt	-
OT	売上高	954	1,200	+25.7%	+28.1%
	カテゴリー利益	324	450	+38.7%	+40.6%
	カテゴリー利益率	34.0%	37.5%	+3.5ppt	-
















2025年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,664	1,850	+11.2%	+11.2%
	営業利益	276	410	+48.2%	+48.2%
	営業利益率	16.6%	22.2%	+5.6ppt	-
うち、アシックスジャパン	売上高	945	1,150	+21.7%	+21.7%
	営業利益	221	350	+57.7%	+57.7%
	営業利益率	23.5%	30.4%	+6.9ppt	-
北米 地域	売上高	1,350	1,360	+0.7%	+1.4%
	営業利益	112	115	+2.0%	+2.5%
	営業利益率	8.3%	8.5%	+0.2ppt	-
欧州 地域	売上高	1,793	2,050	+14.3%	+17.2%
	営業利益	252	320	+26.5%	+30.0%
	営業利益率	14.1%	15.6%	+1.5ppt	-
中華圏 地域	売上高	1,004	1,220	+21.4%	+27.8%
	営業利益	193	240	+24.1%	+30.7%
	営業利益率	19.3%	19.7%	+0.4ppt	-
オセアニア 地域	売上高	429	475	+10.5%	+10.3%
	営業利益	76	85	+11.3%	+11.2%
	営業利益率	17.8%	17.9%	+0.1ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	373	470	+25.9%	+29.3%
	営業利益	74	105	+41.6%	+46.0%
	営業利益率	20.0%	22.3%	+2.3ppt	-

※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

P.RUN ラインナップ

・ ビギナーランナーからシリアスランナーまでフルラインナップで商品を提供

	STABILITY	CUSHION	BOUNCE	SPEED	TRAIL
High					
	GEL-KAYANO 31	GEL-NIMBUS 27	SUPERBLAST 2	METASPEED PARIS	METAFUJI TRAIL
	¥20,900 / \$165 / €200	¥20,900 / \$165 / €200	¥24,200 / \$200 / €220	¥27,500 / \$250 / €250	¥27,500 / \$250 / €250
Price					
	GT-2000 13	GEL-CUMULUS 27	NOVABLAST 5	S4+ YOGIRI	TRABUCO MAX 4
	¥15,950 / \$140 / €160	¥15,950 / \$140 / €160	¥16,500 / \$140 / €150	¥22,000 / \$200 / €210	¥19,800 / \$160 / €180
Low					
	GT-1000 13	GEL-PULSE 16	DYNABLAST 5	MAGIC SPEED 4	GEL-Trabuco 13
	¥12,100 / \$110 / €130	¥13,200 / \$100 / €110	¥13,200 / \$120 / €130	¥18,700 / \$170 / €180	¥17,600 / \$140 / €160

スポーツスタイル (SPS) プロダクトポートフォリオ

- 複数の商品群を持つことで、トレンドサイクルの早いスニーカー市場における柔軟な機会創出とリスクに対応
- プレミアムな方向にシフトし、コラボレーションなどによる差別化やアパレルコレクションを活用したスタイリング提案を実施
- 在庫コントロールにも注力し、高い利益率を実現

VISIBLE TECH

テクノロジーとスタイル
の融合



GEL-KINETIC FLUENT
¥20,000 / \$180



GEL-QUANTUM 360 VIII
¥18,000 / \$160

MODERN

アーカイブの再構築



GEL-NYC
¥17,000 / \$140



GEL-NUNOBIKI
¥13,000 / \$90

VINTAGE TECH

2000年代アーカイブ



GEL-KAYANO 14
¥18,000 / \$150



GEL-DS TRAINER 14
¥14,000 / \$110

CLASSICS

90年代アーカイブ



GEL-LYTE III
¥15,000 / \$120



SKYHAND OG
¥13,000 / \$100

SKATEBOARDING

スケートボードに向き合った
テクノロジーとスタイル



GEL-FLEXKEE PRO 2.0
¥18,000 / \$150



JAPAN PRO
¥13,000 / \$105

コラボレーション



ASICS x Kiko Kostadinov
GEL-QUANTUM ZIENTZIA
¥35,000 / \$290



ASICS x HIDDEN NY
GEL-VENTURE 6 SHIELD
¥19,000 / \$160



Asics x Cecilie Bahnsen
GEL-KAYANO 20
¥32,670 / \$240



Asics x HAY
SKYHAND OG
¥16,830 / \$120

※製品の時代背景、リテール店頭表現・ECでのお客様への案内を踏まえSILO名を再構成



DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。